

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
請求実務演習Ⅱ Medical coding Ⅱ		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	( (医療事務技能審査試験対策) )	メディカルークユニットを履修している学生
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
請求実務演習Ⅰ・ICDコーディングⅠ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療情報処理演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
堀口 智栄子	非常勤講師室	月・木の9時から16時 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
請求実務演習Ⅰの学習を確認するとともに、 ①外来及び入院レセプト作成 ②支払基金・国保連合会への請求実務を中心に学習する。				
授業の目標				
請求実務のスキルアップを目指し、 ①DPC・電子カルテに必要な知識が身につくようにする。 ②診療科ごとに対応できるように算定全般を理解し、レセプトが点検できるようにする。 ③医療事務技能審査試験に合格できるようにする。				
授業の方法				
演習問題を中心に様々な診療科の事例を検討しながら、正しいレセプト点検を行うことができるようにする。				
学習の成果 (学習成果)				
①診療報酬点数表を読みこなすことができる。 ②医療保険制度について説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	外来と入院料について (ガイダンス) ①			
第2回目	外来と入院料について (ガイダンス) ②			
第3回目	入院料 ① (初診料)			
第4回目	入院料 ② (緊急入院算定と記載)			
第5回目	入院料 ③ (医学管理等)			
第6回目	入院料 ④ (投薬)			
第7回目	入院料 ⑤ (注射)			
第8回目	入院料 ⑥ (処置)			
第9回目	入院料 ⑦ (手術)			
第10回目	入院料 ⑧ (検査)			
第11回目	入院料 ⑨ (画像診断)			
第12回目	入院料 ⑩ (リハビリ・その他)		(小テスト I)	

第13回目	食事療養費
第14回目	演習問題 I
第15回目	演習問題 II
第16回目	演習問題 III
第17回目	演習問題 IV (小テスト II)
第18回目	医療事務技能検定対策 ① (椎間板ヘルニア等)
第19回目	医療事務技能検定対策 ② (流行性耳下腺炎等)
第20回目	医療事務技能検定対策 ③ (関節炎等)
第21回目	医療事務技能検定対策 ④ (高血圧等)
第22回目	医療事務技能検定対策 ⑤ (気管支喘息等)
第23回目	医療事務技能検定対策 ⑥ (胃癌等)
第24回目	医療事務技能検定対策 ⑦ (小児熱傷等) (小テスト III)
第25回目	医療事務技能検定対策 ⑧ (糖尿病を主病とするケース)
第26回目	医療事務技能検定対策 ⑨ (脂質異常症を主病とするケース)
第27回目	医療事務技能検定対策 ⑩ (大腸癌を主病とするケース)
第28回目	医療事務技能検定対策 ⑪ (変形性膝関節症を主病とするケース)
第29回目	医療事務技能検定対策 ⑫ (副腎腫瘍を主病とするケース)
第30回目	医療事務技能検定対策 ⑬ (上腕骨外顆開放骨折のケース)

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	基礎知識を理解し、授業に積極的に取り組んでいる。出された課題を準備して授業に臨んでいる。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	40%	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容 (態度含む)		
その他		

教科書と参考図書

医療事務医科テキスト1~4 (ニチイ学館)      医療事務医科スタディブック1 (ニチイ学館)      医療事務医科ハンドブック (ニチイ学館)  
 診療点数早見表 (医学通信社)

履修上の留意点・ルール

メディカルクラークを受験する場合は必ず履修すること。  
 電卓を必ず用意すること。